

電子国土基本図(25000レベル)に対する指摘事項と対応の考え方(個別の表記方法等にかかる事項)

項目の中で☆印(黒又は赤)があるものは、特に注釈のない限り平成24年7月のベクトルデータ刊行時に電子地形図25000で対応しているもの
↓

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
基準点				
電子基準点の標高値(対応済み)	【取得基準に関するご意見】 ◆電子基準点の標高は記されているものの、同基準点が設置されている土地の高さではなく、あくまで「基準点の高さ」であるために誤解を招きやすい、という問題も新たに発生している。	◆電子基準点の高さとして、付属標の高さを取得し平成23年12月21日から反映した。	—	—
水準点の標高値表記	【取得基準に関するご意見】 ◆水準点の記入が廃止されたため、標高点だけが等高線間の土地の高さを読み取るわずかな手がかりとなっている。しかし、これを助けるべき標高点が少なく、これにより従来よりも標高情報は圧倒的に減少している。たとえば箱根湯本から箱根峠までの国道1号(箱根新道経由)を「二万五千分一地形図」モードで閲覧すると水準点・標高点合わせて15か所が記されているが、これに対して電子国土基本図では標高点が2か所しかない。	◆水準点の表記は廃止していない。一等水準点等の主要な水準点1万点のうち、7000点の水平位置座標について、平成24年度中に表記する。(その他3000点の計測方法について検討中。)	—	—
水涯線	【取得基準に関するご意見】 ◆2500レベル基盤地図情報に表現されたすべての水路を取捨選択せずすべて掲載しているため縮尺にふさわしい表現となっていない。結果として水路網の概況がわからず、重要な河川の流れが概観できなくなってしまう。	◆水涯線が錯綜して分かりにくいものについて、25000分の1地形図の記載内容を参照しつつ、地形図に表記されていないデータに対して表記しない旨の属性を付与する方向で検討する。(注:幅員を取得して、幅員の大小で描画する水涯線を自動抽出することは、ご指摘事項の解決に結びつかない。)	◆電子国土基本図として取得されたものを表記するが、より見やすく見せるために、概観を表すのに表記を要さない河川を間引きする方法を引き続き検討する。	◆2500レベルの表記(真位置)と電子地形図25000の2段階の基準を用意することで対応することとし、間引き方法や、Web上での見やすさを考慮して表示する。
水部	【表示基準に関するご意見】 ◆水部は青色よりも多少明るい色とするほうがよい。 ◆河川の源流部は細くする方がよい。	—	◆2万5千分1地形図に合わせた表現を標準とするが、その表現についても、完成度を高めるために、引き続き検討する。	◆同左
人工水路☆	【表示基準に関するご意見】 ◆地表に設置されている水力発電所の水圧鉄管が開渠水路の表示と同じ青色の実線になっているが実態を表していない。自然河川と立体交差するとうまく表現されていない。水力発電所は急斜面の開水路が水が流下するのではなく目に見えるのは鉄管とそれを指示するコンクリート構造物であるから、それを図上に表示すべき。 ◆2500レベルでは小河川と溝渠の区別がつかない。人工水路の地上部を従前の記号に戻してほしい。	—	◆2万5千分1地形図に合わせ、地上部は輸送管と同様の記号で表示する。	◆同左
堰	【表示基準に関するご意見】 ◆堰堤の記号が階段の記号と似ており、また小径とも見間違えそうな紛らわしい表現である。	◆2万5千分の1地形図と同じ表記のためには河川の流れの向きが必要であるため、取得する。	◆現行の電子国土基本図の表記とするが、必要なデータが取得され次第2万5千分1地形図と同様の堰と同様の記号で表示する。(河川中心線が交わっている部分については、上下流の向きを計算で求めて正しく表記している)	◆同左
ダム	【取得基準に関するご意見】 ◆湯川支流大沢に堰堤が8基記されていますが、昨年までは11基表示されていた。実際は12基と思われるが、せっかくの情報が後退してしまったのは残念である。理由は何か。	◆ダムは高さ15m以上の大規模なものについてダムの表記をすることとしてきており、小規模なものも追加する。(なお、指摘の湯川支流大沢については、この基準では表記の対象ではなかった。)	◆小規模なダムについて堰として図示できることとする。	◆同左
道路・鉄道				
道路				
道路(記号道路としての表現については☆)	【表示基準に関するご意見】 ◆大縮尺モードで真幅道路として表示されるのはよいが、中小縮尺モードにすると、道路幅がいろいろでどれが道路かともわかりづらい。 【表示基準に関するご意見】 ◆有料道路が目だつ色分けをしているが、有料/無料を示す色づけと決めるのではなく、自動車専用道路かどうか、種別、管理者も含め、一般の利用者にとって分かりやすい表現を検討するべきである。 【表示基準に関するご意見】 ◆電子国土Web上の地図について、縮尺を変えていくと色使いが大きく変わることがある。同様の色使いとするのが妥当ではないか。 【取得基準に関するご意見】 ◆真幅道路区域と記号道路区域の境界が誤解を招く。2500分の1レベルのデータで25000分の1レベルの表現は明らかに無理がある。 ◆国道表示の道路であるがある地点より極端に細くなり2車線の国道であるにもかかわらずわかりにくくなっている。 ◆色分けしても白黒2値にて印刷した場合国道と林道の違いが無く、見ただけでは通行可能かも判断できない表示である。	◆記号道路としての表現とするために必要な、道路中心線データ及び幅員データを全国で整備する。 ◆道路種別、有料道路についても、現在整備している道路中心線データの属性として付与する作業を行う。	◆道路は、2,500分の1の精度の区域、25000分の1の精度の区域を問わず、2万5千分1地形図と同様の、記号道路の表現とする。 ◆道路中心線及びその幅員から記号道路を表記する。 ◆道路種別、有料道路の表記については、表記に必要なデータを取得し、以下の通り表記を行うこととする。 ①道路種別 道路のエリアを次の色で表現する。 高速道路は緑色、国道は橙色、主要地方道及び都道府県道は黄色、その他は無地。 ②有料道路は、道路中心線上に点列を表記することを標準とする。 ◆道路管理者向けの道路管理者区分の表示については、道路管理者の意見を聞きつつ引き続き検討する。 ◆電子国土基本図として取得されたものを表記するが、より見やすく見せるために、概観を表すのに表記を要さない道路を間引きする方法を引き続き検討する。	(左に加え、以下についても対応) ◆小縮尺の色づかいはい上の①の道路種別に応じて対応する。 ◆2500レベルの表記(真位置)と電子地形図25000の2段階の基準を用意することで対応することとし、間引き、Web上での見やすさ、多縮尺表示における表現の一貫性にも注意して表記する。 ◆道路管理者区分のデータが整備されれば、道路表示色の変更が可能となるような機能を実装する。
橋☆	【取得基準に関するご意見】 ◆橋梁の記号が廃止されたため、どこからどこまでが橋梁部分なのか判別できない。従来の図式に存在した「微量の白部」もなくなり、このため立体交差が著しく読み取りにくい。実際には立体交差なのに平面交差と読み違えるおそれもある。 【表示基準に関するご意見】 ◆「高架道路」は紫色で別扱いになっていて目立つが、配色が配慮に欠けるため周囲から浮いている。また従来は「橋記号」からの類推で、高架であることが容易に判読できたが、凡例を確認しないとそれと確信を持っていない人が多いと思われる。	◆2万5千分の1地形図を参照しつつ、河川・海にかかっている道路、陸部の高架部分で現在取得されていないものについて、橋を取得する。 ◆道路同士が立体で交差している場合にその上下関係を正しく表記するため、道路の上下関係についてのデータを取得する。	◆橋について、表記する「ハ」の字付近で、交差する道路の線との交差が見やすい表現となるようにする。 ◆陸部の高架部についても橋記号とするとともに、高架部の縁に半円点の印を付記して表記を行う。 ◆道路の立体交差の関係をもとに表記する。	◆2500レベルの表記(真位置)と電子地形図25000の2段階の基準を用意することで対応する。

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
国道番号 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国道の路線番号を示す青いベタ塗り部分が広すぎ、そこに隠れている部分が判読不能。特に路線番号が集中している東京・日本橋付近などはこの弊害が顕著に表われている。 	◆道路中心線に国道番号を付与する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆国道番号の表記については、番号標識による表記を標準とする。ただし、記号を小さくし、その背景をより見やすいものとする。 ◆現在地形図で採用されている道路線の片側に番号を記述する方法についても、表示を選択できるものとする。 	◆国道番号の表記については、番号標識による表記とする。ただし、記号を小さくし、その背景をより見やすいものとする。
徒歩道 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆徒歩道の破線は従来より大幅に虚部(途切れた部分)の割合が高いため、連続した道路として読みにくい欠点がある。特に山間部の「つづら折り」区間では実部がバラバラになって連続した道のように見え、不十分な印象となっている。 	—	◆2万5千分1地形図の徒歩道と同様の記号に変更する。表示基準を変更する。	◆同左
石段 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「階段」の記号が黒い点線のようになっていて、誰もが連想できた従来の記号とは異なり、一見して階段であるとは認識しにくい点が問題。 	—	◆2万5千分1地形図の階段と同様の記号にする。	◆電子地形図25000と同様に対応するが、必要に応じてWeb上での見栄えの観点から検討する。
軌道中心線				
普通鉄道 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大縮尺用の表現が適用され、記号の線が非常に細くなったため、特に単線区間の経路が判然としない。 <p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆線路の間隔が不揃いなものなど表現が稚拙。車庫線は輻輳して見える。 	—	<p><線路が判然としない指摘></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆従来の地形図では、JRは旗竿表記、その他の私鉄は太線表記をしてきた。鉄道は、JRが民営化されたが、その歴史的経緯からみると地域間を結ぶJRと、地域内交通であるそれ以外の私鉄とは、役割が異なる部分が残っている。そのため、JRとそれ以外の私鉄は、地形図に倣ってJRが旗竿表記、私鉄を太線表記を標準とする。 ◆ただし、鉄道の表現を同一の表記として、太線表記又は旗竿表記を選択できるものとする。 <p><車庫線などの間引き表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆より見やすく見せるため、表示用データを作成して表示する。 	<p><線路が判然としない指摘></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆同左。 <p><車庫線などの間引き表現></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2500レベルの表記(中心線の真位置)と電子地形図25000の2段階の基準を用意し、Web上での見やすさ等を考慮して表記する。
特殊鉄道 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆特殊鉄道の約半数が「普通鉄道」のままになっている。 ◆特殊鉄道になっても、トンネル部は表示されていなかったり、普通鉄道のトンネルのままになっていたりする。 	◆鉄道についてデータ取得の誤りがあれば、判明次第修正する。	◆特殊鉄道のトンネル部については、普通鉄道のトンネルと同様の表記とする。表示基準を変更する。	◆同左
鉄道の側線部 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆車庫線等も特殊鉄道に分類され、途中で色が変わっているのは不適切。 	◆データの誤りがあれば修正する。	—	—
地下鉄・鉄道トンネル ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆墨破線から茶実線になり、特に山岳地域の単線鉄道ではコンタと重なって判読が困難になった。 	—	◆地下鉄等は25000分の1地形図と同様、茶の破線とする。太さについては普通鉄道に準じて太らせるとともに、色合いも等高線と区分できるよう多少変更する。表示基準を変更する。	◆電子地形図25000と同様に対応する。
鉄道橋 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆立体交差の表現が紫の「高架部」の色になっているだけなので直感的にどちらが上か判断が難しい。高架部の紫色が徹底されていないため、平面交差か立体交差かの区別ができない。 <p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「橋梁」記号の廃止により、直感的に得られた立体感がなくなった。 	◆従来の地形図を参照しつつ、高架部を取得する。	◆陸部の高架部についてはその両側に直線を付記するとともに、高架部の線に半円点の印を付記して表記を行う。	◆電子地形図25000と同様に対応する。
その他(道路、鉄道)				
踏切	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆従来の地形図図式でも平面交差箇所は容易に判別できるのに、踏み切りをことさら表示するのは無意味ではないか。 ◆誤りが非常に多く、モノレールにも踏切が多数表示されるなど扱いが不徹底。廃止された踏切も多いため、鉄道会社や現地での確認が必要である。 	◆確かな資料が収集され確認が終了するまで、表示を停止する。	—	—
交通トンネル口 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆トンネルの坑口が紺色に着色されていることにより色彩が浮き上がっているため「坑口」に見えにくく、しかも坑口記号が必要以上に太いため、トンネルが連続する区間ではノイズになってしまい、ラインとしての道路がまったく浮かび上がってこない。 	—	◆地形図の坑口と同様の記号に変更する。また、トンネルが坑口が小さい場合でも、最小の大きさを設定する。	◆同左
プラットホーム (駅)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ひらがなの駅名表記は地名の読みを確定する大きな役割を持っていたが、漢字表記となったため、「ルビ効果」が失われた。 	◆漢字・かなにかかわらず、正式の駅の名称を取得することとする。さらに、現在は鉄道駅のみがな情報を有していないため、よみがなを付属資料として取得する。	◆正式の駅の名称を標準とするが、かな表記を選択できるようにする。	◆電子国土Web上において、プラットフォーム上にマウスを置いた場合にかな名称が判別できる方法を検討する。

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
雪覆い等 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆表示の規格の変更により、地図に表示しないことになると、現地での位置の確認が難しくなるので表記は残した方がよい。 	◆道路中心線・軌道の中心線に対して、2万5千分の1地形図の雪覆いの情報をもとに、雪覆いの属性を付与。	◆雪覆い属性をもつ道路・鉄道の箇所について、2万5千分の1地形図の雪覆いの表記をもとに表示する。	◆電子地形図25000と同様に 対応する 。
建物				
建物 (濃い表現とすることについて★)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇都市計画地域とそうでない地域の密度が突然変わるので、本当に建物が少なくなっているのかと錯覚する。地域によって色合いを変えてはどうか。 【表示基準に関するご意見】 ◇2万5千分の1地形図よりも建物が詳しく書かれてわかりやすい。ただし、総描の方法など、検討の余地はある。 ◇2500分の1レベルの紙地図では、建物に陰影線(南および東側の線が太めになる)を用いている。そのような表現を検討してはどうか。 	◆山小屋については、 付属資料 として取得する。(総描については、建物とは別途のデータが必要となり、来年度にかけて検討する。建物を間引く表現を行うパターンのほか、縮尺が小さな場合の表現を行うパターンもあわせて検討する。)	◆一般的にWeb上で見られる表現より濃く表現したものを標準とする。 ◆山小屋については、黒で表示する。 ◆陰影線表現については、25000分の1レベルでの表現の効果について検討する。(総描表現については、検討結果を踏まえて対応する)	◆同左
普通建物 (同上)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇黒抹家屋および総描家屋(中高層部も含む)の濃度が薄すぎ、市街・集落の広がり状況、景観が非常に判読しにくくなった。 【表示基準に関するご意見】 ◇山小屋がまったく目立たないのは問題。悪天候時に地形図を読む際に、山小屋の位置の表記は生命にかかわる重要な項目であり、これについてはまったく看過できない問題点である。また、県境の稜線上に建っている山小屋は数多くあるが、これも境界の太い色のベタと小屋の薄い網がお互い邪魔し合って視認がまったく困難である。 	—	◆同上	◆同左
無壁舎 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆いわゆる「無壁舎」も事実上廃止され、この記号で表わされてきた温室、畜舎、タンク等をはじめ、駅舎の上屋部分・ゴルフ練習場のスタンド部分、トラックターミナルなどが他の黒抹家屋と同じ表現になったため、都市景観、集落の状況の把握が困難になった。 	—	◆2万5千分の1地形図の無壁舎記号と同じ記号に変更する。表示基準を変更する。	◆電子地形図25000と同様に 対応する 。
料金所	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇有料道路の料金所も薄い黒抹家屋と同じ濃度であるため、まったく目立たない。 	◆料金所については、 付属資料 として取得する。	◆料金所を背景に対して目立つよう濃い黒色で表記する。	◆同左
構造物				
高塔・煙突・電波塔	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇大きく(基部の面積が広い)高く目立つ構造物である「高塔」「煙突」の多くが表示されていない。 ◇高塔記号を復活してもらいたい。 ◇電波塔を取得してもらいたい。 【表示基準に関するご意見】 ◇高塔について、定形記号(全国どこでも同じ記号)としたほうがよい。スカイツリーが不自然 	◆いったん全て削除したが、60m以上の取得基準を満たすものを整備。高塔はほぼ終了。 ◆高塔や電波塔は60mより低いものも 付属資料 として取得することとし、その範囲を検討する。 ◆煙突は順次確認中であり、現行の取得基準を維持することとする。(経年変化があるため、地形図に示された高等・煙突の転記は行わない)	◆高塔については、定形記号で表記する。	◆同左
土地利用				
特定地区界 (125m×125m以上を特定地区界で取得し、主要なものを注記) (ピニールハウスについて★)	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇工場の記号が廃止されたため、中小の建物が集まるところが、ピニールハウス、商業地域あるいは工業地帯などが判然としない。 ◇工場記号を復活してもらいたい。ショッピングセンターの記号を新設してもらいたい。 	◆工場記号、ショッピングセンターについては、中小の建物が密集するところは現地向向かないと利用の状況が分からず、また実際に様々な利用形態が混在しており、取得基準の設定が困難と考えている。	◆ピニールハウスについては無壁舎の記号で区分する。	◆同左
地形				
等高線 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇一般の道路地図と地形図の違いは、地形、すなわち水準点の数値表記と等高線の表現(の精密さ)にあり、地形の特徴を把握できることである。従来の地形図は都市部において等高線が途切れてしまい、読み取りが難しく、電子国土基本図ではその問題が解決できなかったのが、さらに(地形表現の工夫が)無視されてしまっており、見劣りがする。 ◇等高線については、市街地でも可能な限り表示すべき。また、山岳部の岩稜帯の景観が直感的にわかるような地図表現を期待する。 ◇等高線は崖記号により間断するのではなく、両方を調和を持って表示すべき。 	—	◆等高線は、橋・徒歩道以外、市街地において消えないようにする。 ◆岩稜帯の景観が把握できるような表現(岩崖部に 等高線を重ねた表示)について、 地形を詳細に把握するために重ねる行うことを標準とする 。 ◆ 岩崖部の等高線を表示しない表現も、選択できるものとする 。	◆等高線は、橋・徒歩道以外、市街地で最上位に表記するよう表示基準を変更し、市街地において消えないようにする。
被覆(擁壁) 土崖・土堤、岩崖	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇堤防は高さ5m以上、長さ500m以上でないと表現されなくなり、輪中地帯など、歴史的に重要なものが表示されなくなっただけでなく、堤防も記述されず、防災上も問題がある。 	◆規模の小さい土崖はデータとして取得しておらず、現時点では、新たに取得することはコストの点から困難であることから、情報提供の必要性、効率的な整備方法について引き続き検討する。	(検討結果を踏まえて対応)	同左
湿地 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆薄緑色の「ベタ」の表現では、湿原であることを想像することは困難。従来の優れた湿原記号を「地紋」として採用するのが最もふさわしく、簡単では。 	—	◆2万5千分の1地形図の地紋表現に近い表現で表す。	◆Web上では「エリア」内部に地紋を使った記号表現を行うことは、現行のWebの表記システムでは技術的に困難で、ひきつづき方法を調査・検討する。

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
万年雪 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◆「万年雪」がグレーのアミ表現なので、それと直感しにくいものがある。それ以上に黒抹家屋と同程度のアミ濃度であるため、山小屋の建物表記と区別がつかず、山小屋がまったく目立たないのは問題。</p>	-	◆2万5千分の1地形図の地紋表現に近い表現で表す。	◆Web上では「エリア」内部に地紋を使った記号表現を行うことは、現行のWebの表記システムでは技術的に困難で、ひきつづき方法を調査・検討する。

**地名・境界
行政界**

都府県界＝北海道の支庁界 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◆県境であってもこんなに太い線は必要ない。</p> <p>◆行政界について、太く描いて見やすくするよりも、最新のデータに基づく正確な表現が第一に考えられるべき。</p> <p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆市町村界・都府県界を太い線にしたのは目立って良い面もあるが、中心線(真位置)が示されていないので、きわめて漠然とした印象で、境界が正しく把握できない。しかもこれらの中心線が必ずしも真位置にあるわけでもなく、転位の原則・基準が不明。結果的に現状では地形図から境界を確認することができない。</p>	-	◆従来の2万5千分1地形図の行政界の表現をほぼ踏襲した細い線で表示する。	◆同左
郡市・東京都の区界＝町村・政令市区界 ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◆市町村界の線が異様に太く塗られており、特に山岳部では等高線が読みづらく、読図をするときの邪魔になる。</p> <p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◆県市町村の黄色の境界表示は目ざわり。特に河川と重なる部分は見づらい。ON/OFF表示にしてもらいたい。</p> <p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◆印刷した時、行政界と重なる部分で徒歩道・地形(等高線)が見えない(これは致命的です)ため、登山で使用できない。</p>	-		◆2500レベルの表現としては、現行の黄色幅の行政界よりも線を細くし、その下に存在する地物を見やすくする。

削除した項目

送電線 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆送電線は登山などで重要な目標物となり、多くの人が活用しており、非常に不便を感じる。登山者の安全、安心のため表示してほしい。</p> <p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆2万5千分の1の地図上で今まで記載があったのに、わざわざ高压送電線及び鉄塔の表記を消してしまうなんて、信じられません。今までの位置のままでも良いので、これらの表記を復活させてください。</p> <p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆送電線には送電線巡視路という整備された道がついています。これは登山者等も利用しており、特に道迷いの回避に重要な役割を担っている。従って、山岳での道迷いによる遭難防止の観点からも是非電子国土基本図に送電線表記を反映して頂きたい。</p>	◆より多様な情報を求めるユーザーが既存の地形図の情報を活用できるよう 付属資料 とする。 ◆更新については、国土地理院から空中写真による判読ができない区域等を指定して要請を行うことで、電力会社から必要な情報提供がされる見通しがついたことから、今後、面的更新にあわせて更新する。 ◆内容が電子国土基本図の他の基本項目に相当するレベルに至れば、基本情報としても組み入れる。	◆表記を選択できるものとする。	◆今後情報の維持管理を行うことから、表記する。
発電所、変電所 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆発電所や変電所(一部を除く)を削除したことは「戦時改描」を思わせるものがある。大井川沿いに多数ある発電所や変電所がごとく描かれず、土地の特色がまったく表現されていない。これは戦前から大井川で盛んに電力開発が行われてきた歴史さえ隠蔽する結果になっている。</p>	◆従来の地形図の情報(記号位置)を 付属資料 とした上で、更新については空中写真判読等により行う。	◆表記を選択できるものとする。	◆同上
記念碑 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◇記念碑が削除されたが、記念碑が設置されたところはかつて中心地であったところもあり、町や村の構造を知る有用な情報が欠落したことに等しい。</p> <p>◇記念碑等が削除され、自然・人文・歴史的な総合体としての地域を理解することが困難になった。</p>	◆2万5千分の1地形図から記念碑のデータを転写する(現地確認は困難であるため、すでになくなった記念碑がある場合は、主に指摘等を受けた上で対応する。)	◆表示基準を変更(追加)する。	◆同左
塀	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆へい(塀)の記号が廃止されたため、工場や刑務所など大規模施設の区域が読みとりにくくなり、また目印としての役割も失われた。</p>	◆現地確認が必要であり、情報の維持管理を行うことが困難である。	-	-
植生界 ★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆植生界の表示が無くなり「景観の再現性」が従来の地形図に比べて著しく劣化している。</p> <p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆(植生界という)土地の輪郭がないため、土地の表情が読めない。</p> <p>【取得基準に関するご意見】</p> <p>◆植生界の表示をよく活用しているため、電子国土基本図でこの情報が活用できなくなるのは、残念である。植生界の表示されているウオッチの公開を続けていただきたい。</p>	<p><主題項目></p> <p>◆より多様な情報を求めるユーザーが既存の地形図の植生界を活用できるよう付属資料とする。</p> <p>◆更新については、環境省の植生GISデータが活用可能と考えられるが、方法等についてさらに検討する。</p> <p>◆土地の景観を把握するためにオルソ画像や空中写真が容易に利用できる(国土地理院も提供)ようになっているので、これらも活用していただくことで、国土地理院が独自の基準で分類するのではなく、ユーザー自身が求める分類やレベルの情報を得ることが可能となっている。</p>	◆表記を選択できるものとする。	◆情報の維持管理が困難であるため、表記しない。

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
樹木に囲まれた居住地★	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「樹木に囲まれた居住地」が廃止されたため、集落の性格が見えにくくなっている。とりわけ散居村のある砺波平野や出雲平野などではその景観がまったく窺えず、あまりに薄い黒抹家屋のため「家屋の存在」さえ読み取りにくくなった。「孤立住宅」とそれを取り巻く個々の屋敷林の作り出す独特な景観は、電子国土基本図からはまったく読み取ることができない。中学校や高等学校での地理教育では、カリキュラムの中に「地形図から集落の性格を読み取る」という項目があると聞いているが、新しい図式ではその要請にもまったく応えることができない。 	<p><主題項目></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆樹木に囲まれた居住地については、取得基準があいまいであることから廃止した。 ◆景観を把握するためにオルソ画像や空中写真が容易に利用できる(国土地理院も提供)ようになっているので、これらも活用していただくことで、国土地理院が独自の基準で分類するのではなく、ユーザ自身が求める分類やレベルの情報を得ることが可能となっている。 ◆より多様な情報を求めるユーザのために、電子国土Webの上乗せの付属資料として他の機関・団体等が整備・公開していただくことを、国土地理院としても推進する。 	◆表記を選択できるものとする。	◆同上

表現方法の改善

注記の大きさ・書体(広域名称と個別名称の区別を含む)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆注記等は2500、25000等段階によって(大きさが見にくならないよう)表示を工夫してほしい。 ◆地図の内容(注記など)に違いがないため、1/18,000図は文字も小さくなり、非常に詰め込まれた表現になっている。総描あるいは省略などを行い、縮尺に応じた見やすさの追求がなされるべき。 ◆注記の位置、大きさ等紙地図よりも見にくくなっている。 ◆小字・大字の居住地名等の区分など地名の階層がわかりにくい。広域の名称は、規模(地域)に応じた字大表示にすべきである。 ◆町名と施設注記が区別しにくい。 <p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地形図と同等の表現を行うには、文字サイズや書体を決めるために、その注記の種類コードを属性として持つか、あるいは注記対象となっている線・面・点データとのリンク情報を属性として持つなどの必要がある。 ◆地名の情報は、国土の基本図として正確な位置に全数表示する(縮尺にもよる)べきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆現在、居住地名注記は現時点では階層構造の情報を取得しておらず、また見やすさを考え適宜間引いて取得している。右の表示基準の検討結果を踏まえて、必要なデータ取得を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆注記は現行の2万5千分の1地形図としての表現をほぼ踏襲し表記する。コストを考慮しつつより完成度を高めた表現について、さらに検討を行う。 ◆全数表示すべきとの指摘については、数値地図(国土基本情報)にある地名等情報で対応可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆注記表示の種類・密度に応じた階層化等の状況に応じて、表現の工夫を検討する。
注記などの記載密度	<p>【取得基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆電子国土Webの背景図は建物1軒1軒まで表示され細かくなったが、場所が読み取りにくい。例えば注記、公共施設の建物の名称などを増やして見やすくするなどの工夫がなされるのが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆上の注記の検討事項とあわせて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆上の注記の検討事項とあわせて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆上の注記の検討事項とあわせて検討する。
山の広域名称と個別名称、自由字列への対応(総称と個別名称については★)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国土地理院の電子国土Webの背景図は、字が重なったり、文字と文字の間の空白がないなど、アート性がなくなってしまった。デジタルデータを使っても、人間にやさしいのはアナログ表現であり、それに必要な技術を蓄積・利用することが必要。 ◆アート性がない事例として、地形図において河川名称など曲線部が多い地物は名称を1文字ずつ地物に沿って配置していたが、電子国土基本図では文字をいずれかの方向で直線上に配置されている点あげられる。また山の名称にはひとまとまりを示す総称と個々のピークを示す名称があるが、そのような階層性が判読できるよう図示すべき。 ◆山名には総称と個別の名称があるが、これらを同じ大きさで表示しているため、それらの階層が分からなくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆曲線字列(より広く自由字列)に対応できるよう、注記の取得基準について、表記する文字列に対して、一文字ずつの表記位置・角度などで保持できるよう検討する。(なお、2万5千分1地形図のデータをそのまま使うことは困難である。(そのまま利用すると、新たに付与した文字・新たな修正項目との重複が生じ、判別が困難になる部分が少くないため。)) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆山の総称と個別の名称については、2万5千分の1地形図と同様に階層がわかるように表示する。 ◆曲線字列等の対応については、コストを考慮しつつ表現の完成度を高める方法について引き続き検討を行う。 	◆同左
建物記号の欠落	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子国土Webで建物記号が欠けたり、文字がずれているところがある。このような不自然な表現は修正すべき。 ◇市役所の記号がタイルごとの境界で切れている。 ◇市役所の記号が縦長(例:夕張市)になったり横長(例:小林市)になったり、歪みが生じている。 ◇文字について <ul style="list-style-type: none"> 一文字の一部が欠けている。タイル接合部分で起こっている模様。 一緯度の高いところは低いところより文字が大きくなる。市役所の記号が縦長に歪んでいる地域では縦書きの文字が大きく表示され、横書きの文字は小さく表示される。市役所の記号が横長に歪んでいる地域では、横書きの文字が大きく表示され、縦書きの文字は小さく表示される。 一文字が大きく表示される場合は文字の間隔は狭く、小さく表示される場合は間隔が広がる。 	—	◆発生しないよう対応する。	◆電子国土Webの次期バージョンの本格公開にあわせて解消する見込み。
計曲線の読みにくさ★	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆計曲線の区別がつきにくい。 	—	◆従来の地形図の色を標準としつつ、色表現を利用者が選択できるようにする。	◆従来の地形図の色を標準とする
地形図情報閲覧サービスの継続(対応済み)	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地形図バージョンを7月以降も公開してほしい。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成23年8月1日より、「2万5千分1地図情報閲覧サービス」として公開中であり、引き続き継続する。 ◆平成25年度に最新の2万5千分1を閲覧するサービスを開始する。 	—
施設の情報のポップアップ表示	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共施設等のポップアップ機能の維持。 ◆2月から地図が変わったようですが、凄く見づらく学校名等が出なくなり非常に使いづらいので元に戻して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆現在の電子国土基本図データはよみがな情報を有していないため、よみがなを属性として取得する。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆クライアント上のマウスの位置を常に把握しつつポップアップ表示することは速度を遅くするため、あらかじめ施設等を面として取得した上で、その上でマウスをクリックした場合に例えば名前を表示するなどの機能を埋め込む。

項目	ユーザーからのご意見等	取得基準に対する検討	表示基準に対する検討	
			電子地形図25000の表示について	電子国土Webの地図の表示について
電子国土Webの表現上の縮尺	<p>【表示基準に関するご意見】</p> <p>◇電子国土Webの表現上の縮尺は13段階であるが、「約」がつき、概略の縮尺となっている。縮尺を固定して、全国を同一縮尺でスクロール表示するオプションがつけられないか。</p>	—	—	<p>◆ウェブ地図で使われる円筒図法(シームレスにスクロールさせるため)では、縮尺固定することはできない。また、ユーザのディスプレイの縦横比は、表示されている画素数と正確に同じではないため、正確な縮尺が表示とはなっていない。正確な縮尺の地図は、電子地形図25000で対応する。</p>
電子国土Webのスケールバー ★ (電子国土Webで対応可能)	<p>◇電子国土基本図のスケールバーに細分化した目盛がないので、それより細かい距離を簡単に知ることが難しい。</p>	—	—	<p>◆スケールバーを改良する</p>
陰影段彩図への対応 (電子国土Webで対応済み)	<p>◇スイスの地形図は、シェーディングも自動化されている。従来技術の伝承も考慮し、特に地形図の売れているところなどは、現行のデジタルデータからあっても美しい地図を作成してほしい。</p>	—	<p>◆段彩表示に対応できるようにする。</p>	<p>◆電子国土Web地図上で段彩表現は可能。</p>